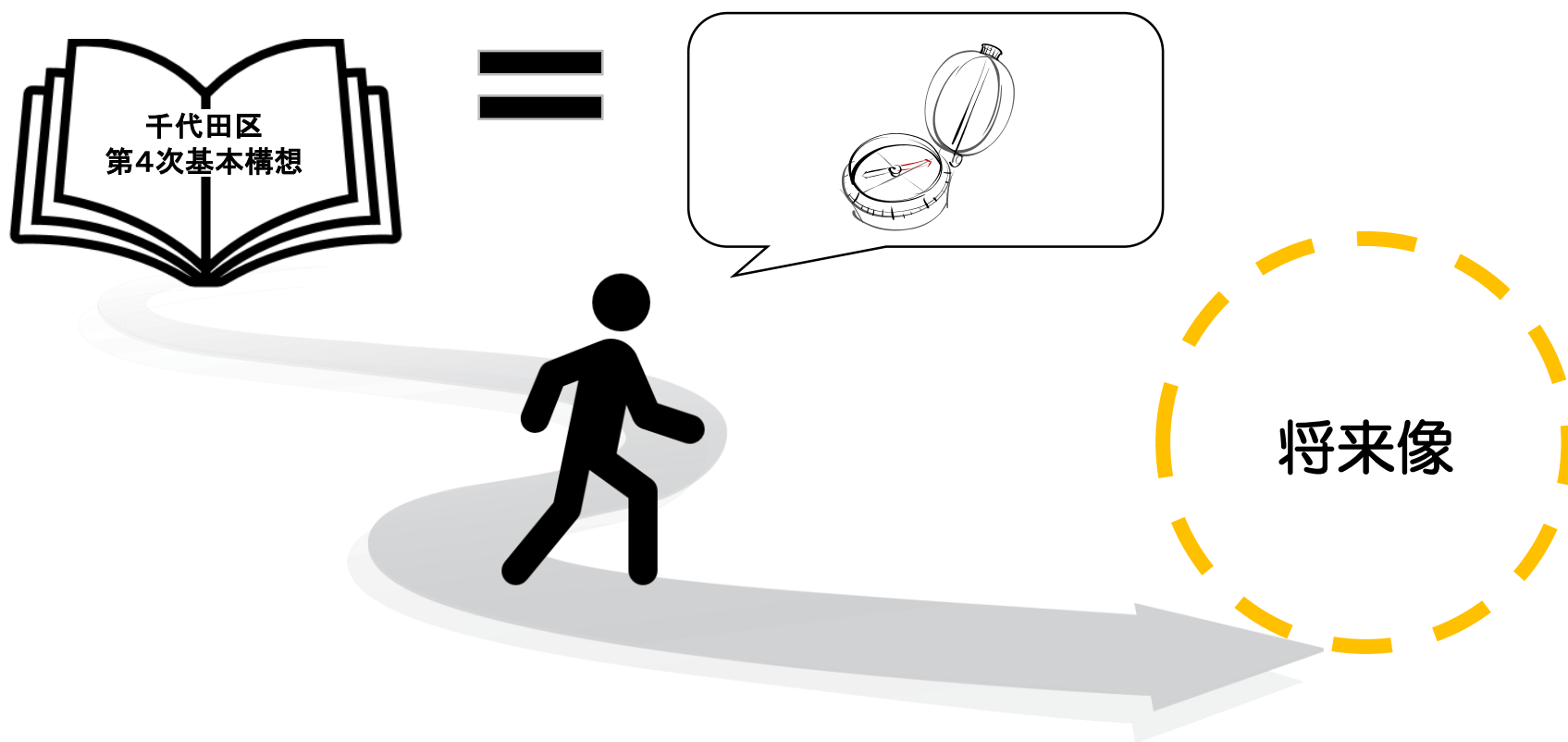


千代田区第4次基本構想(素案)について



1-1. 基本構想とは

- 区の将来像や分野別のあるべき姿を示し、区のすべての行政計画の最上位に位置付けられる理念
- 行政運営の基本となる指針
- 千代田区にかかわるすべての人々と共有し、一体となって構想の実現を目指すもの



1-2. これまでの基本構想について

名称	千代田区基本構想	千代田区新基本構想	千代田区第3次基本構想
策定期	昭和53年6月策定	平成4年6月策定	平成13年10月策定
基本目標 ／将来像	活気と安らぎのある 調和のとれたまち	多様な人びとが、住み、働き、集う、 心豊かなまち千代田	都心の魅力にあふれ、 文化と伝統が息づくまち千代田
目標年次	✓ 昭和60年代半ば	✓ 21世紀初頭	✓ 平成30年代
目標人口	✓ 8万人 ➡44,251人(平成4年5月)	✓ 5万人 ➡39,711人(平成13年9月)	✓ 5万人 ➡67,845人(令和4年11月)



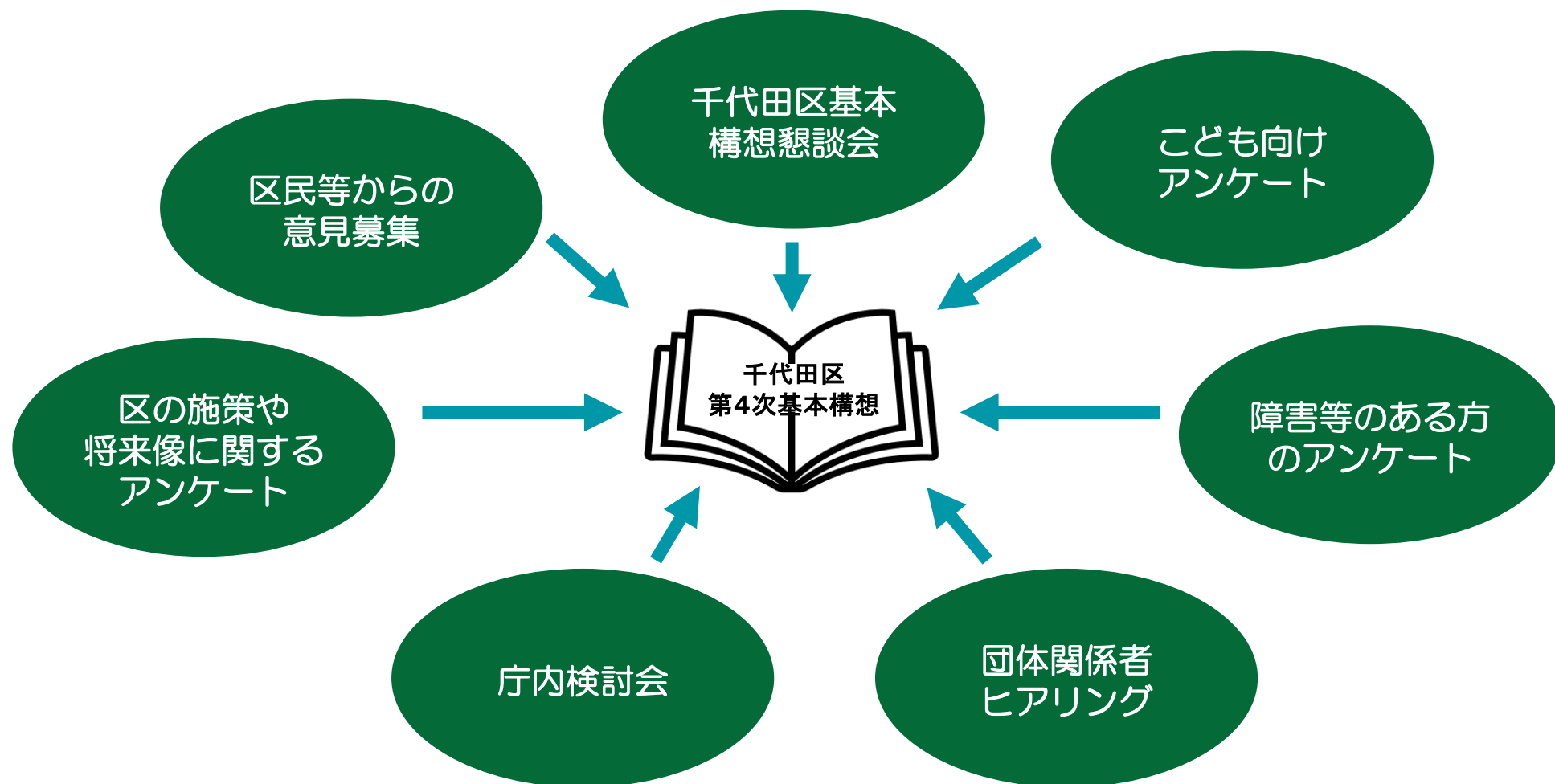
2. 区を取り巻く社会情勢の変化

- 第3次基本構想の策定から約20年が経過
- 社会情勢の複雑化、多様化
- 変化の大きさや変化するスピードも増加



3-1. 基本構想の策定過程

- 「千代田区基本構想懇談会」をはじめ、「団体関係者ヒアリング」、「区民等からの意見募集」や「各種アンケート」等の意見を踏まえて策定



3-2①. 基本構想の策定過程

令和3年

千代田区新総合計画策定庁内検討会を設置

庁内検討会にて検討開始

令和4年

1月 区の施策や将来像に関するアンケート実施

在住区民4,000名、昼間区民1,000名を対象に、千代田区の将来像等についてアンケートを実施

6月（仮称）第4次基本構想（たたき台）を作成

アンケートの結果等を踏まえ、庁内検討会にて、たたき台を作成

7～11月 千代田区基本構想懇談会の設置

区民18名（途中1名辞退）と学識経験者4名で構成。
全体会と部会で計6回にわたって協議



3-2②. 基本構想の策定過程

令和4年

7月 子どもアンケートの実施

区立の小学校5・6年生と中学校・中等教育学校全生徒を対象にアンケートを実施

7～8月 区民等からの意見募集

たたき台について、区民等から意見を募集

7～9月 団体関係者ヒアリングの実施

区内で活動する20以上の団体の関係者にヒアリングを実施



11月 提言書提出

千代田区基本構想懇談会から提言書を提出

11月 千代田区第4次基本構想（素案）を策定

懇談会からの提言書等を踏まえ、素案を策定



3-3③. 基本構想の策定過程

令和4年

12月 住民説明会等の実施

12月9日～23日にかけて住民説明会やオープンハウス型説明会を開催（全8日間18コマ）

12月～1月 意見公募の実施

12月5日～翌年1月6日にかけて意見公募を実施中

<今後の予定>

令和5年

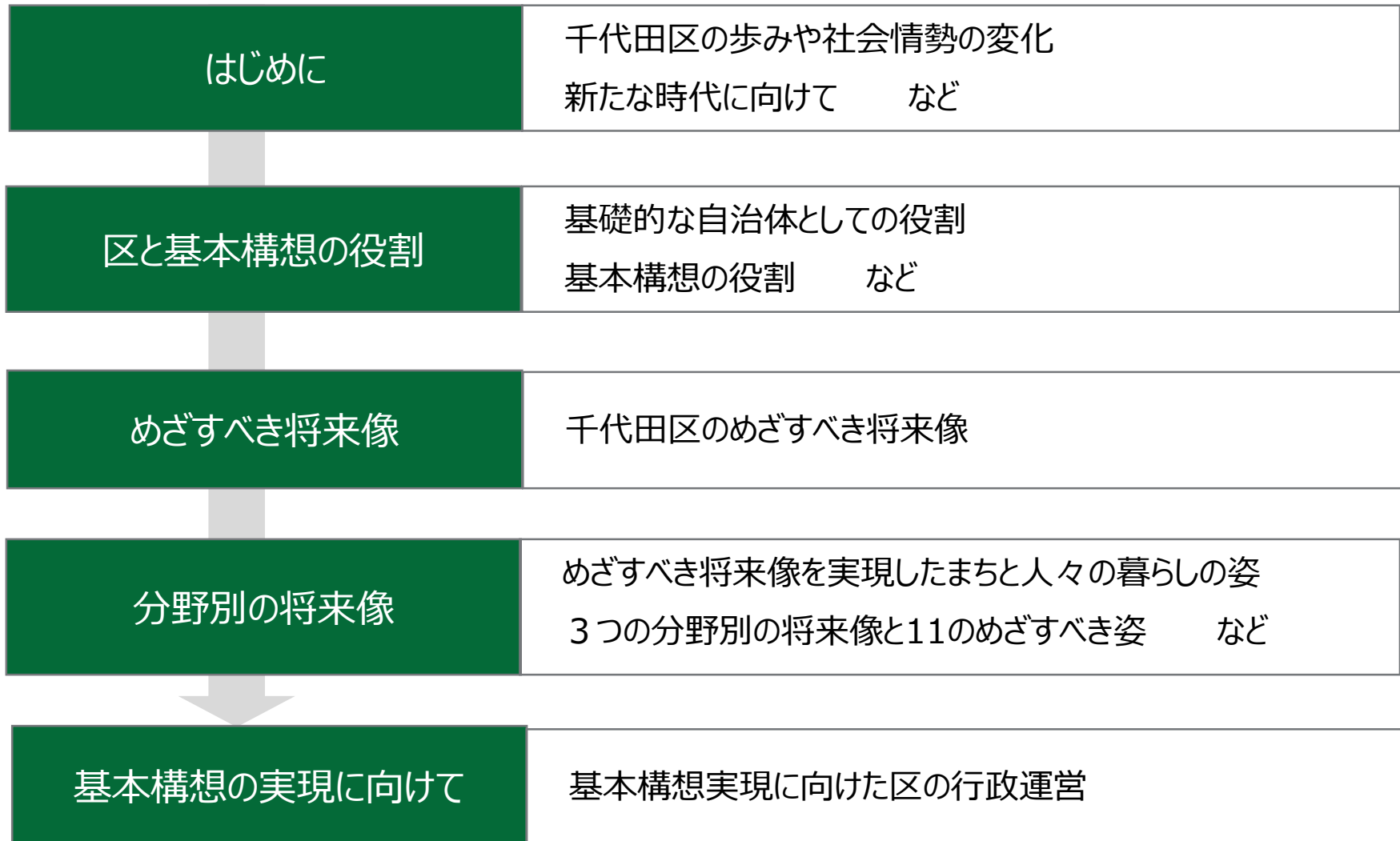
1月 基本構想（案）の決定

住民説明会やパブリックコメントを踏まえ、基本構想（案）を決定

2月 千代田区議会に議案提出

区議会第1回定例会に、千代田区第4次基本構想（案）を提出

4-1. 千代田区第4次基本構想（素案）の構成



4-2. 「はじめに」

はじめに

- 千代田区の歩み
- 社会情勢の変化や千代田区を取り巻く状況
- 20年先の社会を見据えた区政運営
- 新たな時代に向けて

- これまでの基本構想のように目標人口は掲げずに、人口トレンドを把握しながら行政運営を実施
- 概ね10年で内容を点検



はじめに

区と基本構想の役割

めざすべき将来像

分野別の将来像

基本構想の実現に向けて

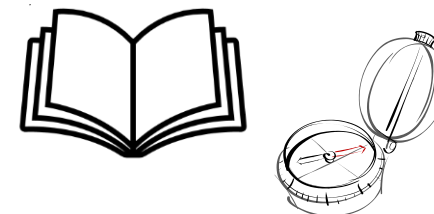
区の役割

- 住民に最も身近な行政主体
- 基礎的な地方公共団体としての自治体運営
- 安定的な財源の確保と住民自治の確立



基本構想の役割

- 千代田区の将来像や分野別のあるべき姿を描くもの
- その実現に向けた方向性を示すもの
- 行政計画の最上位に位置づけられる理念（行政運営の基本となる指針）
- 区に関わるすべての人びとと共有し、一体となって実現するための指針



4-4①. 「2 めざすべき将来像」



伝統と未来が調和し、躍進するまち
～彩りあふれる、希望の都心～

はじめに

区と基本構想の役割

めざすべき将来像

分野別の将来像

基本構想の実現に向けて

伝統と未来が調和し、躍進するまち ～彩りあふれる、希望の都心～

- 千代田区は、皇居を中心に、官庁街・オフィス街・商店街・住宅街など個性豊かなまちを有しています。そして、そこで活動する人々が、お祭りやまち並みなどに象徴される文化、伝統を受け継いできました。
- 私たちが受け継いできた伝統は、長い歴史の中で、それぞれの時代における人びとが新たな文化や価値観を取り入れ、発展してきたものであり、千代田区の魅力を高めてきました。
- 社会の変化が激しい時代にあっても、私たちは、先人が築いてきた伝統を大切にしながら、新たな時代における文化や価値観とも調和をはかり、未来に向け力強く躍進し続けます。そして、人やまちとのつながりを大切に、住み続けられるまちをめざすとともに、千代田に住み、働き、学び、集うすべての人びとが輝き、彩りにあふれ、将来にわたって希望に満ちた魅力あふれるまちをめざします。

分野別の将来像

「めざすべき将来像」を実現したまちと人々の暮らしの姿

分野別の将来像

めざすべき将来像

伝統と未来が調和し、
躍進するまち
～彩りあふれる、希望の都心～

自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち

集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち

やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち

自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち

- 多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。
- すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。
- お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。
- 衛生的な環境のもと、いきいきと健康に暮らしています。
- 生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっています。
- 伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。



集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち

- 活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。
- 人とのつながりが感じられ、支えあうことができます。



やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち

- 良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。
- 人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活をおくっています。



4-6. 「4 基本構想の実現に向けて」

変化の激しい時代への 柔軟な対応

- 効果的・効率的な行財政運営
- 新たな技術や民間活力も積極的に活用

多様性を尊重し 認めあう社会づくり

- 多様性を包摂する社会づくりを推進
 - 多様な価値観や考え方を尊重し、互いに認めあうこと
 - 国際都市東京の中心である千代田区として、国や文化などの多様性を尊重し、人権や平和を守る取組みの推進

参画・協働の推進

- 適時適切な情報発信
- 区政への区民の主体的な参画を推進
- 区民の様々な意見を尊重し、理解を得られるような区政運営
- 区民、事業者、他自治体など、様々な主体との連携、協働を推進し、地域課題の解決や新たな活力を創出

5. 今後の行財政運営の考え方

行財政運営の考え方

今後も、基礎的な地方公共団体として、区民や事業者のニーズを的確にとらえ、それらに寄り添った施策を柔軟かつ迅速に展開していくための行財政運営に関する考え方

1. 変化に柔軟に対応できる
行財政運営の推進

3. 将来世代に負担を先送りしない
財政運営の推進

2. 持続可能な財政基盤の確立

4. 透明性のある行財政運営の推進

はじめに

区と基本構想の役割

めざすべき将来像

分野別の将来像

基本構想の実現に向けて

団体関係者ヒアリングの概要

様々な形で区政運営に関わる団体の関係者に対して、千代田区の良いところや課題、そして、区が作成した（仮称）第4次基本構想のたたき台についてご意見をいただきましたので、ご紹介します。

団体関係者の分野一覧

子ども／子育て／教育／女性／高齢者／障害者／地域福祉／保健衛生／
スポーツ・文化／コミュニティ／町会／マンション／商工観光／環境／
まちづくり（エリアマネジメント）／外国人・国際平和／ジェンダー など



ヒアリングの内容

- ① 千代田区の良いところ、課題
- ② 課題を解決するための取組みや今後の取組み予定
- ③ 「区の分野別の将来像」、「将来像」についてのご意見

- 取りまとめた意見を懇談会で共有
- 懇談会は、団体関係者ヒアリングの内容を踏まえ
たうえで協議

「めざすべき将来像」についてのご意見

伝統とモダンがとけあい、未来に躍進するまち ～彩りあふれる、希望の都心～※

※基本構想（たたき台）の「めざすべき将来像」（ヒアリング当時）
その後、様々な意見を踏まえ、基本構想（素案）を策定

現在はなくなってしまったが、昔はあった千代田区の良いものや、千代田区の最高地点、最低地点など千代田区のいろいろな情報を次世代に引き継いでいくべきだと思う。町名の由来などそういったものを次世代に伝えていきたい。

「伝統とモダンがとけあう」とあるが、「共存」や「ともに活かす」でも良いのではないか。無理に一緒にする必要はないと感じる。古いものがしっかりと残って、新しいものと相互刺激になっているのが良い。

伝統とは担う人が必要であり、そういった人がなくなると伝統は途絶えてしまう。

めざすべき将来像を読むと
どこの自治体のことだか分からない。

彩り、モダンなど難しい言葉を使っても
区民は理解できないのではないか。



「分野別の将来像」についてのご意見①

自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち

人を活かすポイントがあっても良いと思う。千代田区の住民はいろいろなものを持っている。そこが、千代田区の長所だと思う。健康になれる環境（公園内の健康器具や散歩道のベンチなど）が重要であり、まちづくりとも連携する必要がある。

子どもがしっかりと遊べる場が必要だと思う。子ども達にとって住みよいまちにしてほしい。

家族や地域との関係が保たれてこそ、健康が維持されると考えられているため、そのような視点も重要である。

知的障害や精神障害を持つ方は、自ら声をあげたいが、自分の意見を発言する場や、自分の意見を発言できるようになる学びの場がない。当事者が自分の意見を発言できるようになることは重要であると思う。

今は新しい区民が増えていて子どもを対象とした取組みや施設を建てるのが重要でも、将来的に、子どもが成長した後には何が必要かを見据えて考えないといけない。



「分野別の将来像」についてのご意見②

集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち

多様性を活かしながらブランディングできていけると良い。
既に「千代田」という名前がブランドイメージを持っていると思う。
シビックプライドなど「千代田」に対する住民の想いを活かすことがコミュニティづくりのポイントだと思う。



数十年後を見据えた基本構想ならば、持続可能な町会や商店街ができるよう考えないといけない。それには新しい方がどのように参加してくれるか考えていかないといけない。

地域のつながりが薄れてきてしまっている。


人との支え合いについては、伝統的な町会のようなしっかりしたつながりだけでなく、もっとライトなつながりなどいろいろな関わり方を支持するような書き方にすると、少し都会的で千代田らしくなるのではないか。

地域とどの程度関わられたかによって、子育ての充実度が違う。例えば私立学校に子どもが通っている場合、地域との関わりがない。地域と関わりがあることによってお祭りに参加したり、地域のおじさん、おばさんとあいさつをしたり関わりが生まれてくる。

マンション内のコミュニティや、マンションと周辺地域のコミュニティがしっかり形成されていないことは大きな課題であると認識している。
また、地域の取組みに参加する人が増えないと、災害時の対応など新たな課題が生まれる。

「分野別の将来像」についてのご意見③

やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち



千代田区は自然を大事にしていると感じる。皇居を中心に、緑や生物を大事にしているので、基本構想の中で「まちの中にある自然を大事にする」といったメッセージを入れると良いのではないかと感じる。

災害対策に関する記述の中で「安心」について強調したほうが良い。どのような事業を行っていくかなどの具体的な話は、別につくる計画に落とし込むのかもしれないが、安心についてもう少し触れてほしい。

分野別将来像の「都市基盤や災害の体制」に関して、ハードだけではなくソフトな面での災害対応も重要である。

リサイクルなど環境に貢献していくことを謳えるのではないかと感じた。

施設は千代田区の財産となるものなので、考えて整備していかなければいけない。

障害のある方にとって歩きやすい道、使いやすい公園といったまちづくり、場所づくりが必要と考える。

千代田区基本構想懇談会の概要

懇談会は区民が共感できるような新たな基本構想をめざし、区が作成した（仮称）第4次基本構想のたたき台等について提言するために開催されました。

懇談会メンバー

懇談会は区民18名（途中1名辞退）と4名の学識経験者で構成され、区民の様々な視点や専門的な知見により活発な議論が行われました。

懇談会の区民メンバーは、令和3年度に無作為抽出の在住区民4,000名を対象に実施された「区の施策や将来像に関するアンケート」の回答者で、懇談会への参加を希望した区民の中から、千代田区の年齢や男女比を考慮して無作為に選ばれています。

懇談会の構成

懇談会は、全体で議論を行う「全体会」と、分野ごとに議論を行う3つの「部会」で構成されています。

千代田区基本構想懇談会（全体会）

教育と文化部会

福祉と保健部会

くらしとまちづくり部会

活動

回	開催日	主な内容
第1回全体会	7/25	<ul style="list-style-type: none">● 区の現況説明● 新たな基本構想策定について概要説明
第1回部会	7/28	<ul style="list-style-type: none">● 千代田区の良いところ・好きなところについて意見交換● めざすべき将来像・分野別の将来像について意見交換● 現行計画における施策の振り返り
第2回全体会	8/29	<ul style="list-style-type: none">● 団体関係者ヒアリング、職員アンケート等結果の報告● めざすべき将来像・分野別の将来像等について協議● 構造等について協議
第2回部会	9/2 9/9	<ul style="list-style-type: none">● 属性別アンケート等結果の報告● めざすべき姿について意見交換
第3回全体会	10/6	<ul style="list-style-type: none">● 提言書の作成
第4回全体会	11/8	<ul style="list-style-type: none">● 提言書の取りまとめ

懇談会の様子

【全体会】



メンバー全員で意見を出し合い、提言をまとめました。

【部会】

～教育と文化部会～



～福祉と保健部会～



～くらしとまちづくり部会～



部会では分野ごとに少人数のグループに分かれて協議を行いました。

「めざすべき将来像」の変更点

「めざすべき将来像」について、懇談会からの提言を受けて変更したポイントを紹介

㊦ ビフォー（たたき台）

伝統とモダンがとけあい、未来に躍進するまち
～彩りあふれる、希望の都心～

千代田区は、約400年にわたり、政治・経済・文化の中心として歴史を刻んできました。私たちが受け継いできた伝統は、長い歴史の中で、それぞれの時代における人びとが新たな文化や価値観を取り入れ、発展してきたものであり、千代田区の魅力を高めてきました。

社会の変化が激しい時代にあっても、私たちは、先人が築いてきた伝統を大切にしながら、新たな時代における文化や価値観とも調和をはかり、未来に向け力強く躍進していきます。そして、千代田に住み、働き、学び、集うすべての人びとが輝き、彩りあふれ、将来にわたって希望に満ちた魅力あふれるまちをめざします。

㊦ アフター（素案）

伝統と未来が調和し、躍進するまち
～彩りあふれる、希望の都心～

千代田区は、皇居を中心に、官庁街・オフィス街・商業街・住宅街など個性豊かなまちを有しています。そして、そこで活動する人々が、お祭りやまち並みなどに象徴される文化、伝統を受け継いできました。

私たちが受け継いできた伝統は、長い歴史の中で、それぞれの時代における人びとが新たな文化や価値観を取り入れ、発展してきたものであり、千代田区の魅力を高めてきました。

社会の変化が激しい時代にあっても、私たちは、先人が築いてきた伝統を大切にしながら、新たな時代における文化や価値観とも調和をはかり、未来に向け力強く躍進し続けます。そして、人やまちとのつながりを大切に、住み続けられるまちをめざすとともに、千代田に住み、働き、学び、集うすべての人びとが輝き、彩りにあふれ、将来にわたって希望に満ちた魅力あふれるまちをめざします。

㊦ こんな意見ができました

千代田区は既に躍進しているので「躍進し続ける」とした方が、希望があって良い。

常に新しいものが生み出され、それが伝統として受け継がれてきた場所という認識があっても良い。

質の高い様々なまちの要素が既に備わっている。将来に向けての魅力を既にある魅力からもっと引き出せると良い。

懇談会メンバー



江戸時代から蓄積してきた文化などは、千代田区特有の魅力である。そういった魅力は明確に強みとして記載した方が良い。

モダンという表現はわかりにくい。

※懇談会での意見は「提言書」としてとりまとめて区に提出したのち、区において基本構想（たたき台）の修正を行い素案としてまとめました

「分野別の将来像」の変更点①

1つ目の「分野別の将来像」について、懇談会からの提言を受けて変更したポイントを紹介

㊦ ビフォー（たたき台）

自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち

いつまでも元気で充実していること。
それはすべての「人」にとって普遍的な願いです。
その願いを叶えるため、子どもからお年寄りまで、共に支え合い、自分らしく健康に、安心して生活を送れるまちをめざします。
また、生涯を通じて心豊かに学び、成長しあえるまちをめざします。

- 多様なライフスタイルに応じて安心して子育てができています。
- すべての子どもたちの個性や意思が尊重され、すくすくと成長しています。
- 誰一人取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。
- 衛生的な環境のもと、いきいきと健康に暮らしています。
- 生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっています。
- 文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

㊦ アフター（素案）

自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち

いつまでも元気で充実していること。
それはすべての「人」にとって普遍的な願いです。
その願いを叶えるため、すべての人が共に支え合い、自分らしく心身ともに健康に、安心して生活を送れるまちをめざします。
また、生涯を通じて心豊かに学び、成長しあえるまちをめざします。

- 多様なライフスタイルやライフステージに応じて、安心して子育てができています。
- すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。
- お互いに支え合い、誰一人取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。
- 衛生的な環境のもと、いきいきと健康に暮らしています。
- 生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっています。
- 伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

🗨️ こんな意見ができました

将来像を掲げるにあたっては、「自分らしく」という言葉はキーワードになっていると思う。

孤独を感じている人はおり、そのような人たちにとっては、「誰一人取り残されることがなく」という表現は響く。

健康とあるが、身体的な健康だけでなく「精神」の健康の要素も盛り込んでほしい。

共働きやシングルの方もいるので、それを踏まえた表現が良いと思う。「ライフスタイル」は残し、「ライフスタイル・ライフステージ」に変更するのはどうか。

懇談会メンバー



文化財を保護し、いかに伝えていくかということの基本構想の中に活かしてほしい。

※懇談会での意見は「提言書」としてとりまとめて区に提出したのち、区において基本構想（たたき台）の修正を行い素案としてまとめました

「分野別の将来像」の変更点②

2つ目の「分野別の将来像」について、懇談会からの提言を受けて変更したポイントを紹介

㊦ ビフォー（たたき台）

集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち

まちには「人」がいて、はじめて活気とにぎわいが生まれます。
活気とにぎわいで魅力あふれるまちには、人が集まります。
そこで育まれた人とのつながりを大切に、支え合うことができるまちをめざします。
また、地域経済を活性化させ、誰もが豊かさを享受できるまちをめざします。

- 活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。
- 人とのつながりが感じられ、支え合うことができます。

㊦ アフター（素案）

集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち

まちには「人」がいて、はじめて活気とにぎわいが生まれます。
活気とにぎわいで魅力あふれるまちには、人が集まります。
人が集まることでつながるきっかけが生まれ、互いに支え合うことができるまちをめざします。
また、区内には様々な企業や商店、大学等があります。そうした千代田区の地域特性を活かし、地域経済を活性化させ、誰もが豊かさを享受できるまちをめざします。

- 活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。
- 人とのつながりが感じられ、支え合うことができます。

🗨️ こんな意見ができました

区がフォーマルな交流の場を提供するのではなく、自然体で、興味関心を通じてつながるコミュニケーションの場を増やしていけると良い。

子どもがいることでパパ友やママ友とのつながりがあるが、交流するきっかけがない単身者や子どもがいない夫婦とは付き合いがほとんどない。

国際的な面も強いことや地域に大学が点在していることも特徴である。大学との連携を構想に入れ込めれば千代田区らしさが出てくるだろう。

子ども、子育て以外に地域と繋がれるようなルートがあつたら良い。

懇談会メンバー



アフターコロナの社会でこそ、人々が集える場所を作ることが重要であり、賑わいを取り戻す必要があると思う。

※懇談会での意見は「提言書」としてとりまとめて区に提出したのち、区において基本構想（たたき台）の修正を行い素案としてまとめました

「分野別の将来像」の変更点③

3つ目の「分野別の将来像」について、懇談会からの提言を受けて変更したポイントを紹介

㊦ ビフォー（たたき台）

やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち

良好な環境は、「人」の暮らしを豊かにし、**災害に強い安全なまち**は、「人」の安心につながります。
また、暮らし続けたいと思える住環境は、人々の誇りとなります。
皇居を中心とした自然と近代的なまち並みを活かしながら、誰もが安心して快適にすごせるまちをめざします。

- 良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。
- 人にやさしいまちづくりにより、**心地よい**都心生活をおくっています。
- 強靱な都市基盤や災害に備えた体制が**構築され**、安心して暮らすことができます。

㊦ アフター（素案）

やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち

良好な環境は、「人」に**やすらぎを与え**、暮らしを豊かにし、安全なまちは、「人」の安心につながります。
また、暮らし続けたいと思える住環境は、人々の誇りとなります。
身近に触れ合うことができる自然と近代的なまち並みの中で、誰もが安心して快適にすごせるまちをめざします。

- 良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。
- 人にやさしいまちづくりにより、**便利で快適な**都心生活をおくっています。
- 地域特性を踏まえた**強靱な都市基盤や災害に備えた体制のもとで、安心して暮らすことができます。

🗨️ こんな意見ができました

移動とバリアフリーなど区民が移動に困らないようにするニュアンスがほしい。

身近な緑は必要である。

良好な環境を次世代に継承する前に、まずは更なる緑化に努める必要があるのではないか。

懇談会メンバー



コミュニティバスやレンタサイクルなど、交通についても触れてほしい。

※懇談会での意見は「提言書」としてとりまとめて区に提出したのち、区において基本構想（たたき台）の修正を行い素案としてまとめました

「基本構想の実現に向けて」の変更点

「基本構想の実現に向けて」について、懇談会からの提言を受けて変更したポイントを紹介

㊦ ビフォー（たたき台）

（１）変化の激しい時代への柔軟な対応

私たちは、変化が激しく将来の予測が難しい時代を迎えています。このような中で将来像を実現していくためには、機動的な区政運営が不可欠です。このため、効果的、効率的な行財政運営に努めるとともに、新たな技術や民間活力も積極的に活用しながら、様々な課題に柔軟に対応していきます。

（２）多様性を尊重し認め合う社会づくり

将来像を実現し、豊かな地域社会を持続可能なものとするためには、多様な価値観や考え方を尊重し、互いに認め合うことが重要です。このため、多様性を包摂する社会づくりを推進します。

また、国際都市東京の中心である千代田区として、国や文化などの多様性を尊重し、人権や平和を守る取組みを進めていきます。

（３）参画・協働の推進

区と区民が一丸となって将来像を実現していくため、区民に対する情報発信を適時適切に行い、区政への区民の主体的な参画を推進していきます。

また、区民、事業者、他自治体など、様々な主体との連携、協働を推進し、地域課題の解決や新たな活力の創出につなげていきます。

㊦ アフター（素案）

（１）変化の激しい時代への柔軟な対応

私たちは、変化が激しく将来の予測が難しい時代を迎えています。このような中で将来像を実現していくためには、機動的な区政運営が不可欠です。このため、効果的、効率的な行財政運営に努めるとともに、新たな技術や民間活力も積極的に活用しながら、様々な課題に柔軟に対応していきます。

（２）多様性を尊重し認め合う社会づくり

将来像を実現し、豊かな地域社会を持続可能なものとするためには、多様な価値観や考え方を尊重し、互いに認め合うことが重要です。このため、多様性を包摂する社会づくりを推進します。

また、国際都市東京の中心である千代田区として、国や文化などの多様性も尊重し、人権や平和を守る取組みを進めていきます。

（３）参画・協働の推進

区と区民が一丸となって将来像を実現していくため、区民に対する情報発信を適時適切に行い、区政への区民の主体的な参画を推進していきます。また、区民のさまざまな意見を尊重し、区民からの理解を得られるよう努めます。

さらに、区民、事業者、他自治体など、様々な主体との連携、協働を推進し、地域課題の解決や新たな活力の創出につなげていきます。

🗨️ こんな意見ができました

区民の多様な意見を尊重しながら、最終判断を民主的にしていただけるような趣旨が提言内容に反映されれば良いと思う。

自治は区民参画が前提であり、区民の賛成意見・反対意見をうまく調和させることで成り立つものであると考えている。

懇談会メンバー



物理的にも身体的にも平和を保てるような内容にしてほしい。

※懇談会での意見は「提言書」としてとりまとめて区に提出したのち、区において基本構想（たたき台）の修正を行い素案としてまとめました